

脳卒中予防対策の推進状況について

平成 26 年度脳卒中对策取組状況

■岩手県脳卒中予防県民会議による県民運動の取り組み

(1) 岩手県脳卒中予防県民会議による県民運動の取組み経過

時期	取組経過等
平成 26 年 6 月 20 日	岩手県脳卒中对策推進県民会議設立準備会開催 場 所：県央保健所会議室 参集者：10 名 ※ 県民会議名称を「岩手県脳卒中予防県民会議」に決定
平成 26 年 7 月 28 日	岩手県脳卒中予防県民会議設立総会開催 場 所：エスポワールいわて大中会議室 賛同・参画団体数：103 団体
平成 26 年 10 月 10 日	岩手県脳卒中予防県民大会準備会開催 場 所：県央保健所会議室 参集者：9 名
平成 26 年 11 月 5 日	岩手県脳卒中予防県民大会開催 場 所：岩手県民会館第ホールほか 参加者：約 600 名

(2) 岩手県脳卒中予防県民会議への関係機関・団体の参画状況 (平成 27 年 3 月末現在)

区分	参画数
経済・産業関係団体	30
学校・教育関係団体	19
医療関係機関・団体	64
保健・福祉関係団体	17
地域活動団体等	14
マスコミ関係	17
金融・保険業	14
製造業	30
小売店	10
運輸通信業	2
電気・ガス・石油業	2
建設業	8
サービス業	11
運輸通信業	30
国・行政機関	11
計	279 機関・団体

平成 26 年度事業報告

1 設立総会

(1) 日 時

平成 26 年 7 月 28 日 (月)

(2) 場 所

エスポワールいわて

(3) 参加者

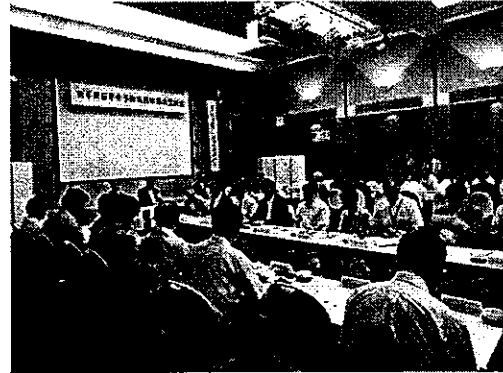
約 90 名 (参加団体 : 103 団体)

(4) 内 容

趣旨説明 : 設立発起人代表 岩手県知事 達増拓也

基調講演 : 岩手の脳卒中～現状と問題点～

岩手医科大学 内科学講座 神経内科・老年化分野 教授 寺山靖夫 氏



2 岩手県脳卒中予防県民大会

(1) 日 時

平成 26 年 11 月 5 日 (水) 11 時～16 時

(2) 場 所

岩手県民会館大ホール・ロビー

(3) 参加人数

約 600 名

(4) 内 容

総合司会 : 古舘友華アナウンサー (テレビ岩手)

基調講演 : 脳卒中の治療と予防～健康に長生きするために～

岩手医科大学 脳神経外科学講座 教授 小笠原 邦昭 氏

講 演 : 「食から健康」～適塩生活がつくる健康なところと体～

ドクターズレストラン Green*Green 管理栄養士 白井 名津子 氏

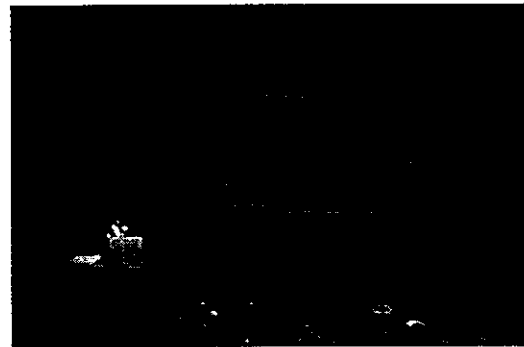
トークショー : ありのままに～「三度目の人生」を生きる～

歌手 西城 秀樹 氏

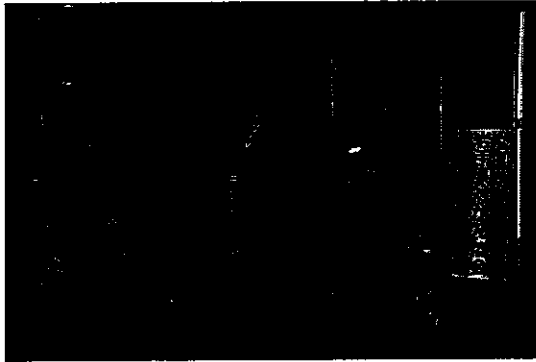
ロビーイベント

・ポスターセッション (岩手県予防医学協会、岩手県対がん協会、岩手県栄養士会、Jミルク、NK メディコ)

・減塩食体験コーナー (盛岡市食生活改善推進員団体連絡協議会、盛岡市保健所)
(適塩味噌汁、かぼちゃのミルクそばろ煮 (乳和食)、YMCA 和え (講演内で紹介した白井氏考案の減塩メニュー))



- ・最新機器による血圧、体脂肪等測定コーナー（岩手県国民健康保険団体連合会）
- ・食生活相談コーナー（岩手県栄養士会）
相談実績：39件
- ・骨粗しょう症検査コーナー（岩手県予防医学協会）



（減塩食体験コーナーの様子）



（ポスターセッションの様子）

3 広報・啓発事業

(1) 会員広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）

- ① 協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防などに関する情報を掲載し、加入している 16,000 企業に対して配布
- ② 県で発行しているいわてグラフ 8 月号に脳卒中予防に関する取組の特集を掲載し、県内全戸に対して配布

(2) じゃじゃじゃ TV 食生活改善スペシャル（IBC 岩手放送、大塚製菓、岩手県予防医学協会）

- ・平成 26 年 10 月 18 日（土）に IBC テレビで特番を放映
- ・岩手県予防医学協会の協力で、本県出身の落語家 桂枝太郎氏の初めての人間ドック受診の様子を紹介するとともに、生活習慣病予防と食生活改善の必要性を訴える内容



(3) いわて元気○ (げんきまる) (テレビ岩手)

- ・平成 27 年 1 月からテレビ岩手で放送中の「5 きげんテレビ」及び「ニュースプラス 1 いわて」の中で、脳卒中予防や生活習慣病予防をはじめとした「健康増進」や「予防」に関する話題を特集して、週 1 回程度のペースで放送
平成 26 年度中に 15 回放送
- ・放送したものはテレビ岩手のホームページ内で動画の閲覧が可能
(<http://www.tvi.jp/genkimaru/>)

(4) 共催・後援 (3 件)

- ① 「ストップ! 脳卒中」～脳卒中からあなたと家族を守るために～公開講座 (岩手県栄養士会主催)
釜石会場: 平成 26 年 10 月 15 日 (水) 陸中海岸グランドホテル
盛岡会場: 平成 26 年 11 月 26 日 (水) ホテルルイズ
- ② ミルクでおいしく減塩=乳和食研修会 (岩手県栄養士会主催)
平成 26 年 10 月 23 日 (木) 岩手県学校給食会
- ③ 脳卒中予防啓発チャリティキャンペーン (住友生命保険相互会社主催)
平成 27 年 3 月 24 日～平成 27 年 6 月 22 日

4 食生活改善事業

(1) 外食栄養成分表示登録店等推進事業 (保健所)

- カロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店や弁当・惣菜店等を登録し、県のホームページで紹介
- ・ 361 店舗 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(2) 適塩習慣定着事業 (保健所)

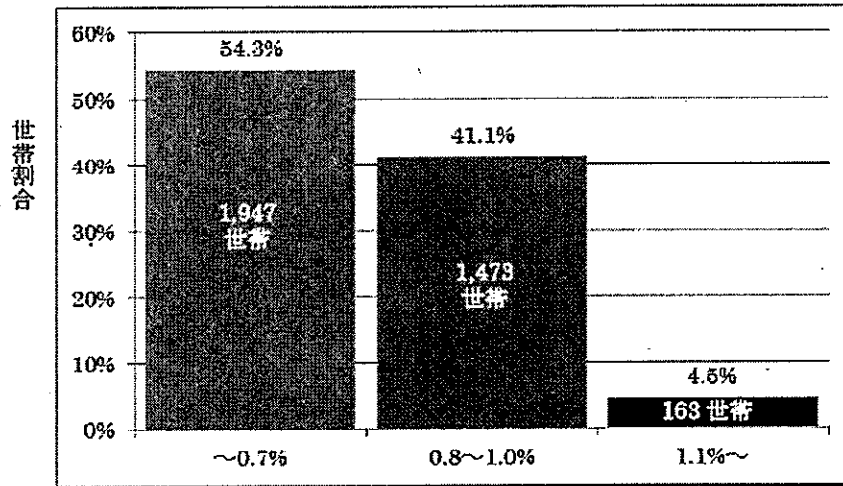
- 保育園、幼稚園、小中学校、高等学校及び事業所の幼児、児童・生徒、職員、保護所及び従業員等を対象とし、講話や調理実習等を通じてライフステージに応じた適塩習慣の実践を促すもの
- ・ 事業所への出前講座等: 68 件
 - ・ 学校への出前講座等: 29 件

(3) 「突撃! 隣のおみそ汁」事業 (岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会)

- ・ 実施時期: 平成 26 年 7 月～平成 27 年 2 月
- ・ 県内の食生活改善推進員 (延べ 1,708 名) が県内 33 市町村の調査協力世帯 3,583 世帯を対象に実施
- ・ 食生活改善推進員が調査協力世帯を訪問し、調査協力世帯が家庭で調理した味噌汁を塩分測定機により塩分濃度を測定するとともに、減塩・適塩習慣の指導や普及啓発等を実施 (なお、各地域で開催された健康関連イベントにおいて、調査協力者が家庭から持参した味噌汁を同様の方法で測定したのものも含む。)

- ・基準は、使用した塩分濃度測定器の基準を参考に、0.7%以下を「うす味」、0.8%～1.0%を「標準」、1.1%以上を「濃い味」と判定

塩分濃度の分布



味噌汁の塩分濃度

(4) 「家族でチェック！食生活」イベント (IBC 岩手放送、大塚製薬、岩手県栄養士会)

- ・平成 26 年 10 月 5 日 (日) にイオンモール盛岡南で開催
- ・IBCラジオ「のりこのおばさん白書」公開生放送
- ・栄養士による食生活診断コーナー (相談者約 100 名)



5 健康運動事業 (県)

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための健康運動指導者講習会を開催

実績：参加者 107 名

6 禁煙事業

(1) 禁煙・分煙の飲食店・喫茶店登録事業（保健所）

県内で禁煙又は分煙を実施している飲食店及び喫茶店を対象に登録を受け付け、ホームページなどを通じて広く県民に紹介

398 店舗（平成 27 年 4 月 6 日現在）

(2) 職場での受動喫煙防止対策の促進（保健所）

保健所職員が企業・事業所などを訪問し、受動喫煙防止対策が進んでいない職場への対策を推進

個別訪問実績：28 件

(3) 禁煙サポート推進事業（県）

人間ドック受診者のうち喫煙者に対し、禁煙補助剤提供などの禁煙支援を実施

委託先：岩手県予防医学協会

禁煙補助剤配布実績：190 名

7 その他

(1) 地域協働研究（岩手県立大学、岩手県環境保健研究センター、岩手県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会岩手支部）

・岩手県立大学平成 26 年度地域協働研究（地域提案型・後期）に採択

・研究者：岩手県立大学看護学部 松川久美子講師

・研究テーマ：「脳卒中に対する企業意識の変化が死亡率等へ与える影響について
～脳卒中予防運動の課題と予防活動評価指標の検討～」

・研究期間：平成 26 年 10 月 22 日～平成 27 年 9 月 30 日

・実施方法：県民会議の会員を対象にアンケート調査を行い、脳卒中予防のための活動を行っていくうえの課題を明らかにし、より効果的な県民運動の方向性を検討するとともに、保健・医療等のビッグデータや人口動態統計などの既存データで得られる脳卒中予防のための県民運動の評価指標について検討

(2) 会員の拡充

県民へのさらなる啓発を推進し、各種事業との連携を図るため、より多くの企業や団体等の参加を促進

設立時	103 団体
平成 26 年度目標	300 団体
平成 27 年 3 月 31 日現在	279 団体

平成 27 年度事業計画（案）

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会・講演会

(1) 日 時

平成 27 年 6 月 5 日（金）10 時～12 時

(2) 場 所

岩手県民会館中ホール

(3) 内 容

総 会：平成 26 年度事業報告及び平成 27 年度事業計画（案）について

基調講演：「政府戦略で始まった健康投資の社会的評価」

東京大学政策ビジョン研究センター特任助教／ヘルスケア・コミッティ
ー株式会社 代表取締役会長 古井祐司 氏

講 演：「脳卒中（脳梗塞）経験者としてお伝えしたいこと」

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 営業推進部次長 川勝弘之 氏
（厚生労働省「治療と職業生活の両立等の支援対策事業実施委員会」委員）

2 岩手県脳卒中予防県民大会

(1) 日 時

平成 27 年 8 月 1 日（土）10 時～16 時

(2) 場 所

いわて県民情報交流センター（アイーナ）

(3) 内 容

基調講演：脳卒中に関する最新の動向

講 演：食生活改善に関する情報提供

イベント：国体と連携した運動習慣を醸成するための取組
関連団体や企業による展示コーナーの設置

3 広報・啓発事業

(1) 会員広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）【継続】

① 協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、
メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防などに関する情報を掲載し、
加入している 16,000 企業に対し配布

② 岩手日報生活面への脳卒中予防に関する記事の連載（協会けんぽ岩手支部・岩手
日報・県医師会・県栄養士会・県）

③ 県の広報媒体へ脳卒中予防に関する情報の掲載

(2) いわて元気〇(げんきまる)キャンペーン(テレビ岩手)【継続】

平成27年1月から「5きげんテレビ」及び「ニュースプラス1いわて」の中で番組横断コーナーとして「健康増進」や「予防」に関する話題の特集を引き続き放送することに加え、講演会やキャンペーンスポットCMの放送、流通業者とのタイアップなど、立体的な連動企画を実施

(3) 岩手県民健康応援キャンペーン(岩手日報社・アクサ生命保険)【新規】

県民一人ひとりが自ら健康状態を自覚し、健康的な生活習慣を確立するとともに、社会全体で県民の主体的な健康づくりを支援するプロジェクトを紙面展開

(4) 企業向け健康経営セミナー(岩手日報社・アクサ生命保険)【新規】

- ・テーマ:「目指せ健康経営/社員の健康管理のススメ」(仮称)
- ・講師:東京大学政策ビジョン研究センター 特任助教

ヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役会長 古井祐司 氏

- ・平成27年9月18日(金)にプラザおでってで開催予定

(5) 児童生徒被災地健康課題対策講演会(保健所)【新規】

若年期から適切な生活習慣を身につけ、自己の健康へのセルフケアについての意識づけを行うため、沿岸被災市町村の児童・生徒等を対象として岩手医科大学医師等を講師とした講演会を実施

(6) 共催・後援

- ① 脳卒中市民シンポジウム((公社)日本脳卒中協会主催)

平成27年5月31日(日) アイーナ

- ② Stop! No 卒中(日本ベーリンガーインゲルハイム㈱主催、日本脳卒中協会後援)

平成27年11月5日(木) ホテル東日本

(7) ホームページの作成

- ・会員の取組を集約し、好事例を紹介
- ・会員による健康に関するイベントのポータル化
- ・いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを県民向けに分かりやすく加工し提供。(岩手県環境保健研究センター)

4 食生活改善事業

(1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進事業(県・スーパー・味の素等・保健所)【新規】

毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」と設定し、県内スーパー等で減塩・適塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所において、県民の減塩・適塩等の意識の醸成を図るためのキャンペーン活動を実施

【いわて減塩・適塩の日】

岩手県脳卒中予防県民会議が平成26年7月28日に設立されたことに因んで、毎月「28日」を設定。

(2) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）【継続】

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施

(3) 外食栄養成分表示店登録事業（保健所）【継続】

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

(4) 減塩リーダー養成講習（保健所）【継続】

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

(5) 「突撃！隣のおみそ汁」事業（岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会）【継続】

食生活改善推進員が調査協力世帯を訪問し、調査協力世帯が家庭で調理した味噌汁を塩分測定機により塩分濃度を測定するとともに、減塩・適塩習慣の指導や普及啓発等を実施

・平成27年度目標 2,600世帯（5年間で人口の1%程度）

(6) ヘルシーランチフェア（住友生命・岩手県栄養士会）【新規】

・平成27年4月24日（金）に盛岡グランドホテルで実施

講師：岩手県栄養士会 会長 福田禮子氏

参加者：約80名

5 健康運動事業

(1) 表彰制度の創設【新規】

従業員の健康維持・増進のため、「運動」の分野において、優良な取組を実施している企業・事業所を対象として表彰するもの

(2) 運動習慣に対する機運醸成【新規】

国体局と連携し、国体を契機とした運動習慣定着に対する機運を醸成

① わんこダンスキャラバン（番外編）

8月1日の県民大会の中で、岩手国体公式ダンスであるわんこダンスキャラバンを行うことで、国体の開催を契機とした運動習慣の定着を呼びかけるもの

② 「130万人で参加宣言！」への宣言登録

岩手国体の成功に向けて、盛り上げ活動やおもてなし活動などで国体・大会への参加宣言をして国体・大会を楽しもうという国体局の取組に対して、「国体をきっかけとした運動を中心とした健康づくり宣言（案）」を県民会議として登録するとともに、国体局と連携して市町村で行われるデモンストラーションスポーツへの会員の参加を促進

6 禁煙事業

(1) 煙のない「おもてなし」店登録事業（県・保健所）【継続】

来年開催の岩手国体に向け、来県者へのおもてなしの準備のひとつとして、従来の登録対象としている禁煙又は分煙を実施している飲食店及び喫茶店に加え、宿泊施設等に拡大し、実施に関する情報をホームページで公開

(2) 職場での受動喫煙防止対策の促進（保健所）【継続】

保健所で企業・事業所を訪問し、受動喫煙防止対策が進んでいない職場への対策を推進

(3) 禁煙サポート推進事業（県）【継続】

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙希望者に禁煙補助剤を配布するなどにより禁煙支援を推進

7 その他

(1) 地域協働研究（岩手県立大学、岩手県環境保健研究センター、岩手県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会岩手支部）【継続】

岩手県立大学平成26年度地域協働研究（地域提案型・後期）に採択

研究者：岩手県立大学看護学部 松川久美子講師

研究テーマ：「脳卒中に対する企業意識の変化が死亡率等へ与える影響について
～脳卒中予防運動の課題と予防活動評価指標の検討～」

研究期間：平成26年10月22日～平成27年9月30日

(2) 会員の拡充【継続】

県民へのさらなる啓発を推進し、各種事業への連携を図るため、より多くの企業や団体等の参加を促進

設立時	103 団体
平成27年4月30日現在	301 団体
平成27年度目標	400 団体